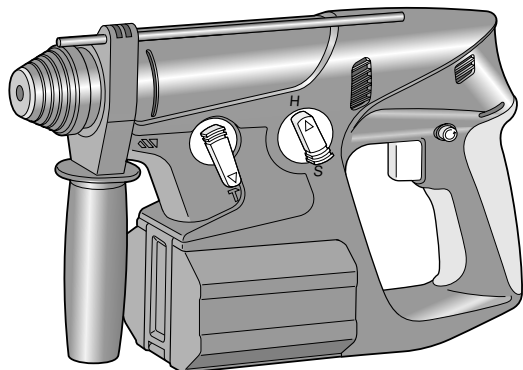


充電ハンマードリル<プロ用>

品番 EZ6813NKN・EZ6813X

取扱説明書



- このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

便利メモ

(おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	EZ6813(NKN・X)
販売店名	☎ () —		

安全上のご注意	2～5
各部のなまえ	6
付属品・別売品	7

ご使用前に

充電する	8～9
準備～作業	10～12
作業終了	12
集塵カップの使いかた	13
別売アタッチメントについて ...	13

使いかた

お手入れ・保管	14
---------------	----

お手入れ・保管

電池パックについて	15
能力	16
仕様	17

お知らせ

故障かな?と思ったとき	18～19
保証とアフターサービス ...	裏表紙

点検方法

安全上のご注意

- ※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠危険 人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意 人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される場合。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠危険

- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わないでください。改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しないでください。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしないでください。
- 電池パックは分解・改造をしないでください。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
- 電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
 - 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 電池パックは専用充電器以外では充電しないでください。
 - 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付けてください。
 - 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

⚠警告

- 正しく充電してください。
 - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - 温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。
 - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
 - 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 電池パックの端子間を短絡させないでください。
 - 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 感電に注意してください。
 - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

⚠警告

- 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
- 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。
- 不意な始動は避けてください。
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
- 電池パックの液が目に入ったらただちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。
- 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

⚠注意

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - 充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
- 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。
- 作業に合った充電工具を使用してください。
 - 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

安全上のご注意

 注意

7. 充電工具は、注意深く手入れしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。

14. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のないかたが修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

15. 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しないでください。

- 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

充電ハンマードリル 安全上のご注意

先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電ハンマードリルとして、さらに次にのべる注意事項を守ってください。

 警告

- 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。材料や本体などを落としたときなど、事故のおそれがあります。

- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。けがのおそれがあります。

- 使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。けがのおそれがあります。

- 密閉された狭い場所で使用しないでください。発煙、発火、破裂などのおそれがあります。

 注意

- 先端工具類(ドリルなど)や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実にしないとはずれたりし、けがのおそれがあります。

- 使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。

- 作業直後の先端工具類(ドリルなど)・ネジ・切りくず・電池端子は高温になっているので触れないでください。やけどのおそれがあります。

- 細径ドリルは折れやすいので注意してください。飛散して、けがのおそれがあります。

- コンクリートドリルφ14.5mmを超える連続作業のときは1パック使用後、本体を冷ましてからご使用ください。本体の温度が上昇し、やけどや故障の原因になります。

- 本体側面の風穴から出る風が直接肌に当たらないようにご使用ください。熱風によるやけどのおそれがあります。

各部のなまえ

本体

ハンマー・ドリル
切替ハンドル

深さゲージ

チャック

風穴

補助ハンドル

電池ホルダー

H・S切替ハンドル
(H→ハンマー時:強打撃/ドリル時:高速)
(S→ハンマー時:弱打撃/ドリル時:低速)

風穴

正逆切替スイッチ

スイッチ

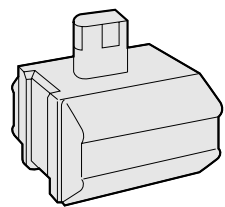
底部

解除レバー

風穴

電池パック

(ニッケル水素電池)
(EZ6813Xには
付属していません)



充電器 P8参照

(EZ6813Xには
付属していません)

位置合わせマーク

充電状態ランプ P9参照

充電中のみグリーン(左側)か
オレンジ(右側)を表示

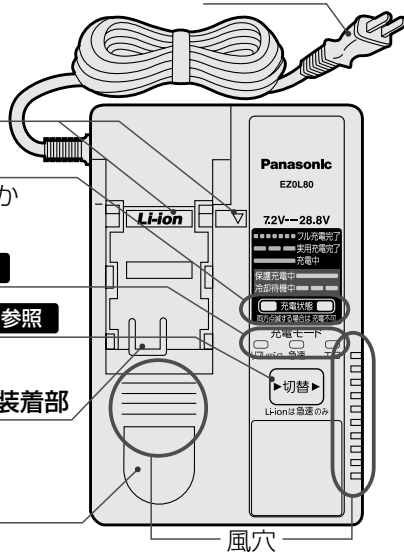
充電モードランプ P8参照

充電モード切替ボタン P8参照

リチウムイオン電池パック装着部

ニッケル水素/ニカド
電池パック差込口

電源プラグ



風穴

付属品・別売品

商品	付属品		別売品の有無
	EZ6813NKN	EZ6813X	
充電器 	○	—	○ EZOL80
電池パック (ニッケル水素電池) 	○ (2個入)	—	○ EZ9210 EZ9210S
パックカバー 	○ (2個入)	—	○ EZ9181W7827※
ケース 	○	—	○ EZ9515
集塵カップ 	○	—	○ EZ9X004
ドリルチャック (チャックハンドル付) 	—	—	○ EZ9HX400
ハンマーチャック (チャックハンドル付) 	—	—	○ EZ9HX401
はつりアタッチメント 	—	—	○ EZ9HX402
コンクリート用ドリル (φ12.5) 	—	—	○ EZ9DC341

※補修用部品としてお買い求めできます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic



<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

充電する

リチウムイオン電池パックの他、ニッケル水素電池パックやニカド電池パックも充電することができます。

充電の前に

充電器は0~40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パック(充電する場所との温度差が15℃以内)を充電してください。

電池パックの温度が0℃以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

電池パック装着部・差込口内部のゴミを取り除いてから充電してください。

●電池パックのはずしかた **P12参照**

お願い

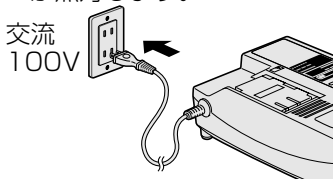
- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。 **P20参照**
- 電池パックは2個同時に充電できません。2個装着した場合は一旦両方はずし、一方のみ装着してください。

お知らせ

- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も充電モードランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのうち、いずれかが1つが点灯します。

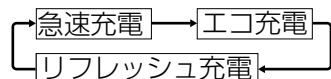
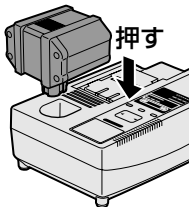


ニッケル水素電池やニカド電池の場合

- お買い求め時は、電池パックの活性化のため必ずリフレッシュ充電をしてください。

2 電池パックを差し込み約30秒以内に充電モードを選ぶ

- メーカー出荷時、充電モードは急速充電に設定されています。
- 充電モード切替ボタンを押すと順次切り替わります。



- 充電モードは電池パックを充電器に差し込んでから約30秒後に確定(記憶)*されます。確定後、充電モードを切り替える場合は、電池パックを一度抜き差ししてください。
- 充電モードを選ばないと前回の充電モードで充電されます。(リフレッシュ充電を除く)
- *リフレッシュ充電を選択した場合や充電モード確定前に電源プラグを抜いた場合は記憶されません。

3 充電後は電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

充電状態ランプの見かた

——— 点灯 — — — 遅い点滅 ●●●●●●●● 速い点滅 ——— 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
———	———	充電中
— — —	———	実用充電完了 (リチウムイオン電池のみ)
●●●●●●●●	———	フル充電完了
———	———	電池保護 充電中
———	———	冷却待機中
●●●●●●●●	●●●●●●●●	充電不可

●電池パックの温度が低いとき、2ヵ月以上使用していなかったとき
▶電流を下げて電池パックにやさしく充電します。(特にリチウムイオン電池の場合0℃以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)

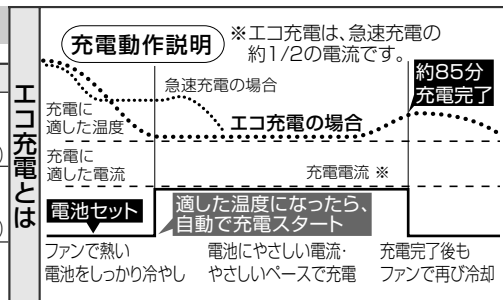
●電池パックの温度が高いとき
▶電池パックを冷却しています。冷却待機中は充電を行いません。

●電池パック差込口のゴミづまり
▶電源プラグを抜いてからゴミを取り除いてください。

●電池パックの故障
▶別の電池パックに交換してください。

充電モードについて

充電モード		充電時間
エコ充電	電池にやさしくゆっくり充電	約45~85分 (EZ9210 EZ9210Sの場合)
急速充電	電流を制御しながら短時間で充電	約30分 (EZ9210 EZ9210Sの場合)
リフレッシュ充電	P15参照	約12時間以内

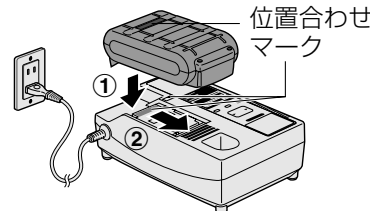


リチウムイオン電池パックの場合

- お買い求めのときはフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

2 電池パックを充電器に装着する

- ①位置合わせマークを合わせて差し込む
- ②底に当たったら矢印の方向に引く



- 充電モードランプは「急速」が点灯します。(リチウムイオン電池パックの充電モードは「急速」のみです。切り替えはできません。)

- 充電状態ランプが充電状態を表示します。

実用充電とフル充電について

実用充電:フル充電の約80%の充電が完了した状態。急速に充電します。(約15分)

フル充電:実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。(実用充電完了後、約15分)

3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

準備～作業

準備中のご注意

警告

- ドリルや付属品の取り付け・取りはずしは、必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体から抜いてください。

急に動き出し事故のおそれがあります。

ご使用に際しては、関連法規や条例で定める騒音規制値以下であることが必要です。必要に応じて、しゃ音壁を設けてください。

作業中のご注意

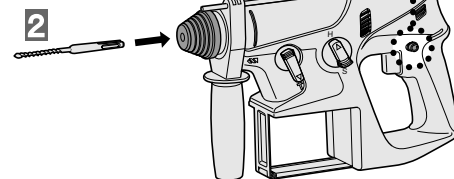
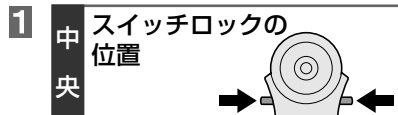
警告

- 使用中は振り回されないよう本体を確実に保持してください。けがのおそれがあります。
- 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。材料や本体などを落としたときなど、事故のおそれがあります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- 使用時に本体側面の風穴をふさがらないでください。風穴をふさいで使用すると、本体機能を損ない故障の原因となります。

ハンマー動作にしても打撃しない・打撃力が弱いときは

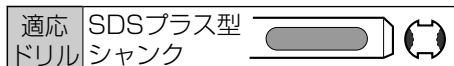
- ビットを押し付ける力が弱いからです。無負荷で動作させたときにハンマーの空打ちを防止する構造になっています。ビットをさらに押し付けるとハンマーの固定が外れて打撃します。ビットを強く押し付けて作業してください。
- 冬場など、本体の温度が低いと(0℃以下)グリスが硬くなり、抵抗が増えるためです。約30秒程度ハンマーモードで無負荷動作を3回程度繰り返し行ってください。打撃力が回復します。

1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



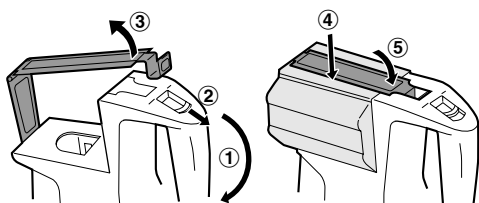
2 ドリルを取り付ける

- ①ドリルを取り付け穴に差し込みながら回し、かみ合うところをさがす
 - ②かみ合ったところで、さらに押し込んで固定する
 - ③ドリルを軽く引っ張って、抜けないことを確認する
 - ドリルは前後に約15mmスライドしますが、異常ではありません。
- ※この本体には、SDSプラス型シャングのドリルが取り付け可能です。



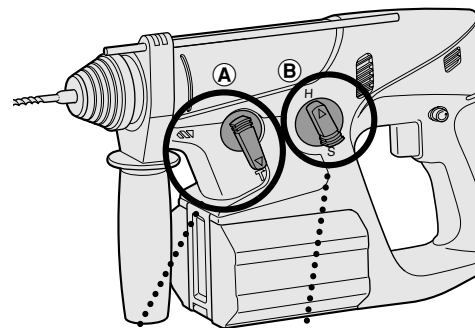
3 電池パックを取り付ける

- ①本体を逆さにする
- ②解除レバーを押して
- ③電池ホルダーをはずす
- ④電池パックを差し込む
- ⑤電池ホルダーが固定されるまで確実にはめ込む



4 2つの切替ハンドルを組み合わせて作業モードを選択する

- 2つの切替ハンドルの組み合わせにより、4つのモードが選択できます。作業に合わせて切り替えてください。
- 切替ハンドルの操作はモーターが停止してから行ってください。完全に停止しない状態での切替操作は故障の原因となります。



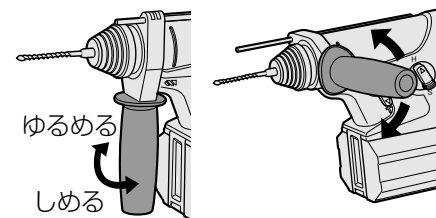
作業モード		②H・S切替ハンドル	おすすめ穴あけ作業
①ハンマー・ドリル切替ハンドル			
↑ ハンマー (打撃+回転)	強打撃ハンマーモード	H	ハイパワーなハンマー打撃でコンクリート穴あけ作業に適しています ●コンクリートドリル
	弱打撃ハンマーモード	S	打撃力をセーブすることで、破損しやすい細いドリルでの穴あけ作業や、もろい母材への穴あけ作業に適しています ●(小径)コンクリートドリル
↻ ドリル (回転)	高速ドリルモード	H	高速回転により、サイディングや金工穴あけ作業に適しています ●金工ドリル ●金工ホールソー ●サイディングコアドリル
	低速ドリルモード	S	ハイパワーなトルクにより、木工穴あけ作業に適しています ●木工ドリル

- 各モードにおける適応能力 **P16参照**
- ドリルモードでの本体振動を小さくするために次の操作をお願いします。ハンマー・ドリル切替レバーを「ハンマー」から「ドリル」に切り替えるときは一度「ハンマー」の位置で空転させてから「ドリル」の位置に切り替えてください。

SDSプラス型シャング以外のドリルをご使用するときには…
別売のドリルチャック(EZ9HX400)またはハンマーチャック(EZ9HX401)をお買い求めください。 **P7参照**

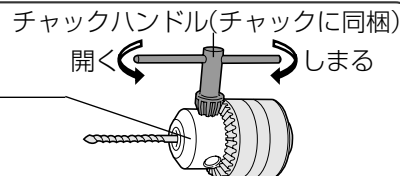
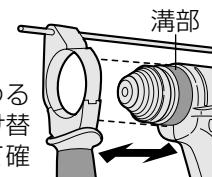
5 補助ハンドルの角度を調節する

- ①補助ハンドルをゆるめる
- ②使いやすい角度で補助ハンドルを確実にしめる



〈左利きの人の場合〉

- 補助ハンドルを逆に取り付ける
- 補助ハンドルをゆるめて引き抜き、付け替え溝部に合わせて確実にしめる



準備～作業

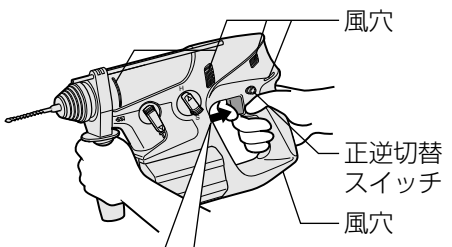
⚠️ 注意

- コンクリートドリルφ14.5mmを超える連続作業のときは1パック使用后、本体を冷ましてから使ってください。
本体の温度が上昇し、やけどのおそれがあります。

- モータが止まるような無理な使いかたはしないでください。
- 木工ドリルを使って大きな穴をあけるときはH・S切替ハンドルの位置をS(低速)で使用してください。
- 細径のコンクリートドリル(φ3.2～φ5.0)を使用するときは、H・S切替ハンドルの位置をS(弱打撃)で使用してください。

6 正逆切替スイッチで正転／逆転を決めてスイッチを入れ作業をする

本機には「過負荷クラッチ」がついています。作業中、ドリルがつまったり、引っかかったり、大きな負荷作業を行なったときなどは、ドリルにモータの回転が伝わりませんが故障ではありません。



- スイッチを押し込むに従って回転数が上がります。(穴のあけ始めは、ゆっくりとスタートしてください)

作業終了

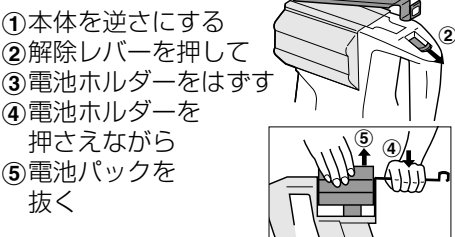
⚠️ 注意

- 穴あけ直後はドリルが熱くなっております。取り扱いには十分ご注意ください。やけどのおそれがあります。

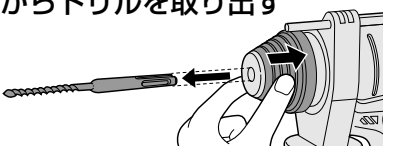
1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする



2 電池パックをははずす

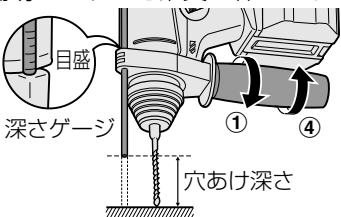


3 チャックを本体に押し込みながらドリルを取り出す



深さゲージの使いかた

- ① 補助ハンドルをゆるめる。
- ② ドリルを被削材に押し付けてからドリルと深さゲージの先端を合わせ目盛を読む。
- ③ 深さゲージを穴あけの深さ分だけ後方にずらす。
- ④ 補助ハンドルを確実に締めつける。



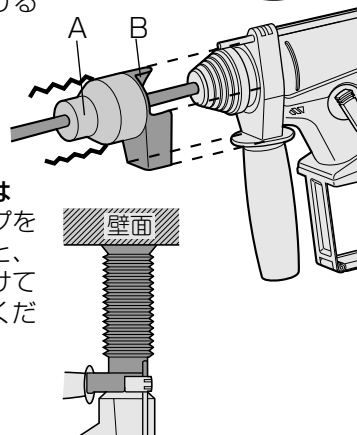
集塵カップの使いかた

⚠️ 注意

- 集塵カップを持って、本体を持ち上げないでください。
本体が落下し、けがのおそれがあります。

- コンクリート・モルタル等産業用の被削材以外にご使用にならないでください。金属等に使用されますと、金属粉の熱などにより集塵カップを破損する恐れがあります。

- ① ドリルを本体に取り付ける
(取り付けかた P10参照)
- ② A部にドリルを通し、
B部を補助ハンドルの
形状に合わせて
取り付ける



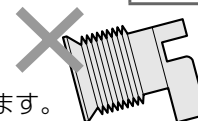
- 作業時は
集塵カップを
びったりと、
壁面につけて
作業してくだ
さい。

- 取りはずすときは
集塵カップの根元
を持って取りはず
してください。

※ 粉塵が集塵カップの中に残らないように捨ててから取りはずしてください。

■ 集塵カップの保管

圧縮して保管しないでください。圧縮したまま保管されますと元の形状に戻らない場合があります。



別売アタッチメントについて

別売アタッチメントを本体に取り付けると以下の作業ができます。

別売アタッチメント	作業モード切替ハンドル	
	ハンマーモード	ドリルモード
ドリルチャック EZ9HX400	× (使用不可)	○ (使用可)
● 用途 ● チャック径φ1.5～φ13 木工ドリル、金工ドリルが使えます。 ※ハンマーモードでは絶対使用しないでください。打撃によりチャックが壊れるおそれがあります。		
ハンマーチャック EZ9HX401	○ (使用可)	○ (使用可)
● 用途 ● チャック径φ2.5～φ13 ハンマーモード(打撃+回転)で使用できます。 モルタル・ブロック・レンガの穴あけ専用です。 ※ストレートシャンク以外のビットは使用しないでください。 ドリルモード(回転のみ)にすると木工ドリルや金工ドリルも使えます。		
はつりアタッチメント EZ9HX402	○ (使用可)	× (使用不可)
● 用途 ● 市販のSDSプラス型シャンクのはつりビットが使えます。 ● タイルがし ● 配管通し溝掘り ● 基礎の修正 などの軽はつり作業ができます。		

お手入れ・保管

お手入れのしかた

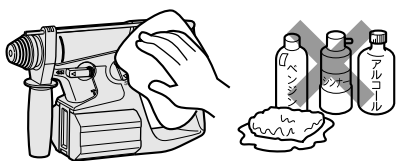
チャック内部／充電器の電池パック差込口内部のゴミを取り除く

- チャックの動作がかたくなるのを防ぐため。
- 充電不可になるのを防ぐため。



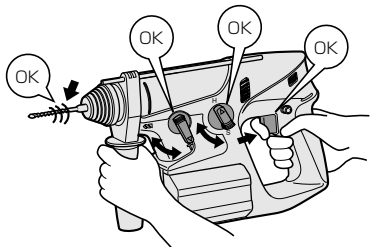
やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のものは使用しない。
(変色・変形・割れの原因)



定期点検の実施

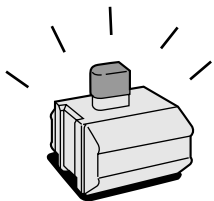
- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが損傷していないか定期的に点検してください。



保管のしかた

電池パックは、パックカバーをつける

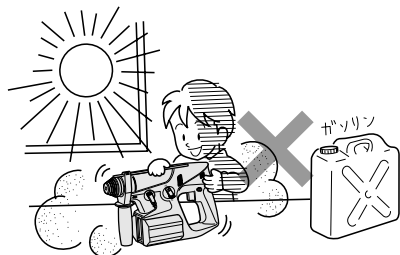
単品で保管時は、短絡を防ぐため付属のパックカバーを付けてください。



保管は適切な場所で

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所

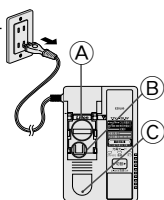


充電器の電池パック装着部・差込口内部のゴミを取り除く

- 電源プラグをコンセントから抜く。

リチウムイオン電池パック装着部

- カバーを押さえて(A)と(B)の部分にある端子を露出させる。
- (A): ブラシなどで端子に無理な力がかからないようにゴミを取り除く。
- (B): 布などでゴミを取り除く



ニッケル水素・ニカド電池パック差込口

- (C): 内部の端子を変形させないように注意してゴミを取り除く。

電池パックについて

⚠危険

- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

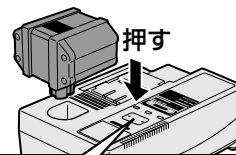
- ニッケル水素電池パックは、使用后フル充電してから保管してください。
また、使いきる前に継ぎ足し充電してください。
- ニカド電池パックは、使い切ってから保管してください。
- 熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。

リフレッシュ充電のお願い

(ニッケル水素、ニカド電池の場合)

- お買い求めのとき。
- 以前より作業量が減ったと感じたとき。
- 使用后、充電して保管したが、2ヵ月以上放置した電池を使用するとき。

性能回復のため、リフレッシュ充電をしてください。



▶切替▶ を押してリフレッシュ充電を選ぶ。(リフレッシュがグリーン点灯)

12時間以内にリフレッシュ充電完了。

エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。

- 電池の状態に合わせて冷却ファンで電池を冷やしながらいリフレッシュ充電を行なうためファンの回転数が途中で下がり、送風量が少なくなります。
- リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なうおそれがあります。

電池パックの寿命

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。
当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックを廃棄の際はお買い求めの販売店へお返しください。
(電池パックは短絡防止のため、必ずパックカバーを付けるか端子部に絶縁テープを貼ってください。)



※EZ6813Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。

本製品の使用電池

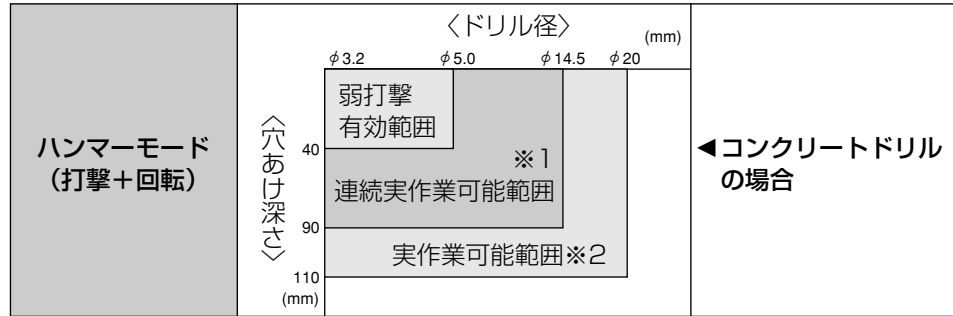
- 名称: 密閉型ニッケル水素蓄電池 (NタイプHR23/43)
- 公称電圧: 1.2V
- 数量: 20本

能力

適応能力

※適応能力以外のサイズはご使用にならないでください。
故障やドリル破損のおそれがあります。

<コンクリート作業>



※1 連続実作業可能範囲：実作業上、連続で作業できる範囲。目安としてφ14.5mm、深さ90mmで約50穴(3パック相当)の穴あけが可能です。(周囲温度20℃、作業間隔10秒)

※2 実作業可能範囲：実作業上、作業できる範囲。目安としてφ20mm、深さ110mmで約10穴(2パック相当)の穴あけが可能です。

- ・目安は、コンクリートの硬さ、ドリルの状態によって変わります。
- ・ご使用中、本体が熱くなったら作業を中断して、冷ましてからお使いください。

<その他の作業>

ドリルモード (回転のみ)		最大能力	
		ドリル径	部材厚み
ドリルモード (回転のみ)	木工ドリル	φ27mm	120mm
	サイディングコアドリル	φ110mm	24mm
	金工ドリル	φ13mm	2.3mm
	金工ホールソー	φ25mm	2.3mm

1回のフル充電による作業本数(周囲温度20℃)

※数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さ、押しつけ力、ドリルの切れ味などにより変わります。

穴あけ数

ドリル	材料	ドリル径	深さ・板厚	穴あけ数
コンクリートドリル	コンクリート 強度2.4kN/cm ² (240kgf/cm ²)	φ3.5mm	約40mm	約70孔
		φ6.0mm	約40mm	約85孔
		φ12.5mm	約40mm	約50孔
		φ14.5mm	約90mm	約15孔
金工ホールソー※	冷間圧延鋼板 SPC	φ25mm	2.3mm	約20孔

※別売のドリルチャックもしくはハンマーチャックをご使用の場合

仕様

本体

モータ電圧	DC24V		H	S
質量(重量)	約4.35kg	回転数	0~950回転/分	0~520回転/分
大きさ (概略寸法)	全長 全高 *幅 316×206×74(mm) *電池パック最大幅107mm	打撃数	0~4,600回/分	0~3,100回/分
		打撃力	約23.6KN(2400kgf)	約12.7KN(1300kgf)
振動3軸合成値*	16.2m/s ² (EN60745-2-6規格に基づき測定)			

※『3軸合成値の取扱い』につきましては、JEMA [(社)日本電機工業会]

ウェブサイト: <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powerool.html> をご参照ください。

充電器 (EZOL80)

電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	約198W	質量(重量)	約0.96kg
----	----------------	------	-------	--------	---------

充電可能な電池パック

電池パックの種類	リチウムイオン電池	
	電池電圧	充電時間
EZ9L81	28.8V	約27分
EZ9L61	21.6V	約22分
EZ9L41	14.4V	約19分
EZ9L31	14.4V	約19分
EZ9L42	14.4V	約38分

※(S)の付く品番は、品番の末尾に「S」が付くタイプと付かないタイプの2種類があります。
※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
※エコ充電の充電時間は充電前冷却時間を含みます。
※EZ9061は中間アダプターEZ0890(別売品)が必要です。
※表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。
※EZ9L31、EZ9L42は充電できません。

電池パックの種類	ニッケル水素電池		ニカド電池		
	電池電圧	充電時間	電池電圧	充電時間	電池電圧
電池電圧	7.2V	約15分	EZ9061・EZ9065 EZ9066	約12分	—
	9.6V	約22分	—	約15分	—
	12V	約22分	—	約15分	—
充電時間	急速	約15分	約9分	約12分	約15分
	エコ	約30~70分	約45~85分	約20~60分	約25~65分
電池電圧	15.6V	—	—	—	—
充電時間	急速	約27分	—	約16分	—
	エコ	約45~85分	—	約30~70分	—
電池電圧	24V	—	—	—	—
充電時間	急速	約30分	—	約20分	—
	エコ	約45~85分	—	約30~70分	—

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

	症 状	考えられる原因
充 電 時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	高周波で制御しているため。
	電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。
	充電中に冷却待機中の状態になる。(オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックが熱くなっている。
作 業 時	動かない。	電池パックが充電されていない。 電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。
	ドリルが回らない。	過負荷クラッチが働いている。
	ドリルモードで振動が大きい	本体の構造上、ハンマー停止位置ズレによりピストンが微振動する場合がある。
	充電しても穴あけ本数が少ない。	ドリルが消耗している。
		電池パックの寿命。
冷えた電池(0℃以下)を暖かい場所で充電した。 電池パックが2ヵ月以上放置されていた。あるいは購入したばかりである。		
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに差し込んだとき「充電モード」ランプのいずれかが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に「充電モード」ランプも「充電状態」ランプも点灯・点滅しない。 ● 「冷却待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ● 「充電中」(グリーン:点灯)後、1時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 ● 「リフレッシュ充電」を開始した後、13時間以上充電しても「充電状態」ランプが「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 	

処 置
そのまま放置してください。しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
別のコンセントで、充電するか、テレビ・ラジオから離して充電する。
ゴミを取り除く。
周囲温度が0~40℃の場所で充電する。電池パックの温度が下がると自動的に充電を開始する。
充電する。
ゴミを取り除く。
軽く押しつけて作業をしてください。
ハンマーモードで一度空転させたらドリルの位置に切り換えてください。
新しいドリルと交換してください。
新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
10℃以上の場所に1時間程度放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電する。
リフレッシュ充電をする。 P15参照

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
● 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

愛情点検

長年ご使用の充電ハンマードリルの点検を



こんな症状はありませんか?

- ・ 本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。
- ・ 充電器のコードが損傷している。
- ・ 動作中に異常な音がある。

お願い

故障や事故防止のために使用を中止し、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずして必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

修理を依頼されるときは

18～19ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体6か月間(ただし電池パック・ケースは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)(電池パックのフックは有料修理させていただきます。)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご希望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用 **部品代** 部品および補助材料代 **出張料** 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電ハンマードリルの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。<http://panasonic.co.jp/cs/>

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

●修理に関するご相談は……………

パナソニック お客様ご相談センター

電話

365日 受付9時～20時

フリーダイヤル



0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「550#」を押してください。(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

ナビダイヤル ハイ 365日
(全国共通番号) **0570-081-365**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時～20時

●携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などのご利用は

大阪 ☎06-6906-1090

札幌 ☎011-261-6401 名古屋 ☎052-551-7900

東京 ☎03-5392-7190 福岡 ☎092-622-0531

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社

パナソニックESパワーツール株式会社

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地 TEL(06)-6908-1131

© Panasonic Corporation 2012